



不撓不屈の人

ふとふくくつひび

塙保己一没後200周年記念企画「不撓不屈の人」。今回は、「塙保己一の生涯」最終話となる第八話をお届けします。また、瓦製の塙保己一座像の寄贈や塙保己一に関する講座の開催情報などをお知らせします。

塙保己一の生涯

第八話 終焉。そして保己一の評価

はじめに

保己一は文政四年（一八一八）九月十二日に七六歳の生涯を閉じますが、多くの業績を遺してきたことはすでに述べました。今回は保己一自身がどんな人だったのかご紹介します。

一・当道座の検校として

保己一は当道座に入門し、初心という無官からスタートしましたが、晩年にはついに最高位である総検校に上り詰めました。実力だけでは到達できない地位であり、幸運も引き寄せたのでしょうか。

二・国学者として

保己一は当代随一の国学者であった加茂真淵の教えを受け国学者になりましたが、水戸藩から招かれて彰考館の業務を任されたときに国学者としての地位が確定しました。世間から一流の学者として認められたのです。

三・渋沢栄一からの評価

渋沢栄一は保己一を同郷の先輩として深く尊敬していました。栄一は保己一のことを次のように評しています。「抜群の記憶力と行動力を持つ、強い精神力、清廉潔白で質素儉約だった。何事にも怒らず、人の話をよく聞き、人のために尽くした。機転が利き、心に余裕を持ち、ユーモアがあった。」と。保己一の持つ優れた点を網羅しています。

また、「二面より見ると学者であり、知識人であり歌人であった。しかし別な面からみると実業家であり、同時に政治家であった。」とも言っています。学者とは国学者のこと、知識人とは膨大な知識を記憶していること、歌人とは和歌の先生であったためです。別の面にある実業家とは、『群書類従』や貴重な書籍の出版にあたり多額の予算を調達して計画的に出版と販売を行い、返済にあたったことはまさに実業家並みで、幕府や大名、有名な寺社などの交渉をこなし、厚い信頼を得ていたことは政治家のようであったと考えたのでしょうか。

学者・知識人・歌人・実業家・政治家、保己一はこのいずれも兼ね備え、しかも一流であったわけで、まさにものすごい人物だったと言えます。

没後200周年と生誕275年を記念して

瓦製の座像25体が寄贈されました

塙保己一没後200周年と生誕275年を記念して、(株)エンマンジの大島洋一会長（児玉町児玉南）より総検校塙保己一先生遺徳顕彰会に瓦製の座像25体が寄贈され、9月12日の遺徳顕彰祭で発表しました。寄贈された各座像は、市役所・セルデイ・市立小中学校（全16校）のほか、埼玉県立特別支援学校塙保己一学園などに設置しています。

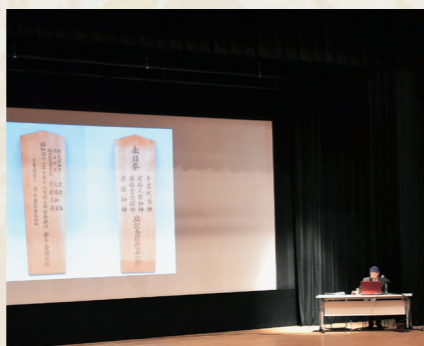
★総検校塙保己一先生遺徳顕彰会事務局（セルデイ内）
TEL 72・8851・FAX 72・8854



ご厚意ありがとうございます

地元ならではの視点で偉人に迫る

市民総合大学公開講座「地元が語る塙保己一」



約110年前には顕彰活動を行っていたと考えられる記録があるそう（12月5日）

市民総合大学公開講座「地元が語る塙保己一」が総検校塙保己一先生遺徳顕彰会及び文化財保護課との連携講座として10月3日、11月6日、12月5日の全3回、セルデイで開催されました。

12月5日の講座ではこれまでの顕彰活動のあゆみを紹介するなど、各回とも地元ならではの視点から総検校塙保己一先生に迫る講座となっていて、参加者は熱心に耳を傾けていました。



郷土の偉人への理解を深める

紙芝居・講談で偉人を学ぶ ～北泉小芸術鑑賞会～

11月22日、北泉小学校で講談と紙芝居で郷土の偉人から生き方を学ぶ芸術鑑賞会が行われました。

最初に塙保己一の生き方を学ぶ紙芝居「郷土の偉人塙保己一ものがたり」が披露され、児童たちは興味深く聞き入りました。その後、講師の宝井琴鶴さんを講師に、「世のため後のため ものがたり塙保己一」を読み進めながら、講談を体験しました。

さらに、地元出身で江戸時代に世界最古の自転車といわれる「陸船車」を開発した庄田門弥に関する紙芝居も披露され、児童たちは郷土の偉人2人への学びを深めていました。



自前の張り扇を鮮やかに使いこなした、講談体験

ミニ知識⑧

塙保己一が編集・復刻した本

保己一は「世のため後のために」と、『群書類従』以外にも多くの書籍を出版しました。

『宝蠲抄』文化八年（一八一二）に編纂、幕府に献上した外寇史料集。蒙古襲来史料を中心に、外国との交渉関係の資料をまとめた。防衛の担い手である武士の精神を奮い立たせようとしたもの。

『日本後紀』『続日本紀』に続く勅撰（天皇の命で編纂される）の編年体の歴史書。『六国史』の三番目。もとは四〇巻で延暦十一年（七九二）から天長十年（八三三）までの四一年余りを収録している。多くが散逸していたが、保己一と弟子たちが探し出し、十巻を刊行した。

『令義解』全十巻。平安時代の法律の解説書。多くが散逸していたため、保己一が復元し、全十巻を刊行。ミニ知識⑦（広報ほんじょう12月号）で触れたとおり、日本の女医一号となった荻野吟子の人生に大きな影響を与えた。

※塙保己一記念館に展示しています。